

お父さん・お母さんはなぜ子どもをボーイスカウトにいられたの？

- ★学校や家庭では体験できないことを経験し、子どもが自信をもって行動するようになりました。
- ★目標をもって努力をし、達成した時の喜びを味わえるようになりました。
- ★活動を通して各学年の子どもたちがかかわり、上の人を頼ったり、下の子を見てあげたり助け合ったり教えるという場ができました。また、協調性が身につきました。
- ★自然に触れて、子どもらしくのびのびと活動することで、物事に興味を示し、物を大切にすることや感謝をすることを覚えました。
- ★自分の役割を果たすことにより、責任感や自立心が養われました。
- ★募金活動を通して、ボランティア精神や他人を思いやる心が養われました。

子どもをボーイスカウトにいられて生活が変わった！

普段忙しくて、なかなかじっくり息子と向き合う時間が無いので、ボーイスカウトの活動を通じて、息子と共に、色々な体験が出来るのがとても楽しいです。これからも、息子と共に成長していけたらと思います。

(ビーバースカウト
保護者)



息子がビーバー隊からカブ隊に進むにつれて、遊びの中で気づき考え行動するだけでなく、ボーイスカウト活動の組としてのまとめ、話し合い、調べ学習などが加わりました。

先輩カブスカウトに声をかけてもらったり、登山では、リーダーによる息子の性格を考えての促しやほめ方に、張り切って活動していたのが印象的です。

(カブスカウト保護者)



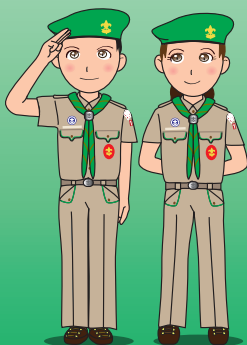
ボーイ隊になると、ビーバーやカブの時とは違い、親からだんだん離れて行ってしまいますが、出来る限り子どもと係われる様に、活動に協力していきたいと思います。

リーダーとして、スカウトと共に色々なことを学ぶ

機会を頂いたことに感謝しております。

研修に行くとき気がたくさんあり、刺激にもなります。正しい知識と技能を身に付けて、スカウトに還元していけたらと思っています。

(ボーイスカウト保護者)



生活が一変し、気持ちを変えるキッカケにボーイスカウトの各種研修会に積極的に参加しました。技能だけでなく色々な方と会い、考え方やとらえ方などポジティブに考えられるようになり、充実感や達成感も味わうことが出来ました。

何よりも、反抗期の息子との平行線的な関係も幅が狭まり、活動の話などでは、会話が弾み、交じり合うことも出来、息子の気持ちが少し変わったような気がします。

この活動は、息子達ばかりでなく、私自身をも変えてくれる活動だと思います。

(ベンチャースカウト保護者)